

十西小だより

弥富市立十四山西部小学校

学校だより 第8号 令和6年5月29日



災害に備えて・・・



先週はいざというときの災害に備えて学習する週となりました。まず、20日(月)の朝礼では、救命胴衣を着る練習を行いました。津波の際には一人一着ずつ着用し、避難します。ペア学年で助け合いながら着用することができました。23日(木)には、地震、津波を想定した避難訓練を行いました。まず最初に地震が来る想定でしたので、机の下に潜り身の安全を確保し、揺れが収まったという放送後に運動場へ出ました。その後、津波が来る情報を得たので、校舎2階に避難し、救命胴衣を着用しました。2回目の着用とあって、子どもたちはテキパキと着用したり、高学年については低学年の着用の手伝いをしたりと、どの学年も素早く行動できました。いざというときの動きを全学年で確認することができた時間になりました。1、3、5年については22日(水)にナマズ号(起震車)で地震体験も行っています。災害への備えをしっかりと学ぶ週となりました。



ごちそうさまでした！

24日(金)に廊下を歩いていると、何やらよい匂いが…。6年生が家庭科室で調理実習をしているところでした。近くまでいくと、手招きする6年生。誘われるがまま家庭科室に入ると、野菜炒めとスクランブルエッグが皿に盛られ、箸まで用意されており、「どうぞ」と促されました。予想外のお招きに驚きながらも食べてみると、野菜炒めは野菜への火の通りもほどよく、味付けも上手にできておりました。また、スクランブルエッグもシンプルな味付けで、おいしくできていました。「サンドウィッチに入れてもおいしいだろうね」と話しながらいただきました。その後の片付けも進んで動いている子が多く、感心しました。

子どもたちと話していたら、家庭で調理を体験している子もいるようです。経験は財産です。生きる力になります。今後も子どもたちの価値ある財産を少しでも増やすことができるよう学校でもさまざまな体験活動を取り入れていきたいです。

